食品ロス削減（フードバンク）

令和5年9月作成
北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課

ワーカーズコープ ぽっけ地域福祉事業所（苫小牧市）フードバンクとまこまい

提供された食品

フードバンクとまこまいのスタッフの皆さん

【組織の概要】

- 団体名：ワーカーズコープぽっけ地域福祉事業所 フードバンクとまこまい
- 所在地：苫小牧市光洋町
- 代表者：代表　松崎　愛
- 活動人数：10名
- 活動開始時期：2016年
- HP：https://foodbanktomakomai.roukyou.gr.jp/
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品：加工食品（常温・冷蔵・冷凍）、農畜水産物、日用品（消耗品、衣類、学用品）
- 提供の条件：賞味期限が切れていない食品

◇【団体発足の経緯】

- ◆ ぽっけ地域福祉事業所が運営する放課後等デイサービスや児童センター等の公共施設を利用者する方たちの中に、食事を摂れていない子がいること知り、支援の必要性を感じた。
- ◆ 2016年に社会福祉協議会や新聞社、有志の方々と共に、フードバンク団体を立ち上げ、子供たちを始めとする生活困窮者への支援を開始した。

◇【活動の概要】

- ◆ 食品は市内各所の公共施設に窓口を設置し、寄贈を受け付けている。
- ◆ 引き渡しは、個人の方々へは、市内3か所に設けている提供窓口でお渡しし、その他団体等はへは事務局で提供している。また、ひとり親世帯等には配送を行う。

【取組む際に生じた課題】

- ◆ フードバンク活動を拡大するための人手が不足している。フードバンク活動は収入の見込める活動ではないため、なんとか助成金や寄付金等で継続している。
- ◆ 一時期はコロナの影響により、全国的に企業からの食品提供も多くあったが、苫小牧でいうと、現在は企業等からの提供はほぼなくなり、個人からの寄贈がメインとなっている。そのような中で北海道フードバンクネットワークとの連携による食品提供もあり非常に助かっている。

フードバンクとまこまいの食品取扱いのフロー図

【今後の展望】

- ◆ 当初から生活困窮者や障害者福祉と組合せ、多様な方の働く場として機能させることを目指しているため、体制を整え、仕組みづくりを強化し、一つ一つ構想を実現し、まちづくりの一端を担う存在となっていきたい。